

在宅 訪問リハビリ

63歳女性 心臓機能障害1級
疾患名：拡張型心筋症(EF15%)

主治医

訪問
理学
療法士

相談支援
専門員

看護師

リハビリの経過

急性期病院を退院後、10日目に心不全増悪し、再入院された経緯があり、今回の退院後は訪問リハビリを導入されました。

退院直後から、訪問リハで日常生活動作を評価し、安楽に動作ができるような環境調整、他部門と連携したサービス調整を行った。在宅生活に慣れるにつれ、過負荷となる調理動作を行うようになられたため、心肺機能を考慮した安楽に実施できる座位での調理環境調整を行いました。

主治医・相談支援専門員との連携

主治医へモニタリング結果を伝達し、負荷量を調整しながら日常生活関連動作の負荷に応じた自助・共助の調整を相談支援専門員と相談し、労作軽減を目的としたサービス調整を進めました。負荷量を鑑み、配食サービスを追加することで、疲労感が軽減し、在宅生活の継続につながりました。

リハビリ リーフレットできました！
ご希望される方は、病院リハ受付まで。

これから皆さんの関心がいっぱい
思っていることはいくつですか？

旅行 散歩 買い物 散歩 料理 交通
その他

病気になっても、足が痛くても...
続けたいこと
それは「目標」といいます

歩く練習
階段の練習
歩く練習
階段の練習

その「目標」のためにやるべきこと
それが「リハビリテーション」です

「その方の人生をお手伝いする」
私たち医療者の使命です

秋津鴻池病院
〒639-2273 奈良県御所市池之内1064
TEL 0745-63-0601

鴻池サテライト病院
〒639-2273 奈良県御所市池之内1064
TEL 0745-63-0601

鴻池サテライト病院
〒639-2273 奈良県御所市池之内1064
TEL 0745-63-0601

医療法人 鴻池会
リハビリテーション

1. 入居希望者の相談・受付
2. 入居後の生活支援
3. 入居後の生活支援
4. 入居後の生活支援

リハビリテーションって
大変そう...

秋津鴻池病院

鴻池サテライト病院

その人らしい生活の支援

「やりたいこと」を実現
「やりたいこと」を実現

「やりたいこと」を実現
「やりたいこと」を実現

体が動かしにくい、よくこける、転倒を繰り返す
生活に不便や不安を感じていませんか？

生活の中でレクリエーション
趣味活動

その人らしい生活の支援

「やりたいこと」を実現
「やりたいこと」を実現

「やりたいこと」を実現
「やりたいこと」を実現

～無料シャトルバスのお知らせ～

八木方面	○近鉄	大和八木駅（南側ローソン前）
橿原方面	○近鉄	橿原神宮前駅 西出口
	○JR	玉手駅（踏切南側）
高田方面	○近鉄	御所駅（バスロータリー内）
	○JR	高田駅（西出口側ロータリー内）
	○近鉄	大和高田駅（正面ロータリー前）



無料シャトルバス



時刻表



乗車位置

医療法人 鴻池会

秋津鴻池病院

ニュース 12

2020 December



外来案内
感染対策
HOSPITAL TOPICS

- 回復期病棟における退院支援パス運用事例
重度介護者への取り組み
- 外来・放射線からのお知らせ
- 退院支援事例 ②
- 急性期病院 主治医との連携により
在宅生活が可能となった事例
(係りつけ医・ケアマネとの連携事例)

【お問い合わせ・見学希望】
秋津鴻池病院 医療相談課 (9時～16時30分)
〒639-2273 奈良県御所市池之内1064
TEL: 0745-63-0601
FAX: 0745-62-1092
※当日緊急対応の必要な場合
内線番号1149 (9:00～17:15)



外来診療のご案内

外来受付時間	午前9時～午後12時まで
外来診療時間	午前9時30分～午後12時まで
休診日	日曜日・祝日・ 年末年始（12/29～1/3）

● 内科外来担当医師

赤字は女性医師

	月	火	水	木	金	土
1診	右原	林	右原	水本	眞島	リハ 外来
2診	神田	大塚	中川	坂本	神田	林

リハ外来は予約制

● 精神科外来担当医師

赤字は女性医師

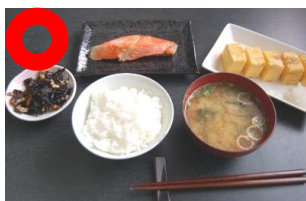
	月	火	水	木	金	土
1診	田原	田原	平井	洪	物忘れ 外来	当番医
2診	洪	中井	松本	嶋吉	高橋	嶋吉
3診	杉山	洪	井上		石川	当番医
5診			物忘れ 外来		中西	

物忘れ外来は予約制（0745-64-2069）

新型コロナウイルス感染対策～食事編～



食事時の会話は
なし×で
いただきます



大皿を避けて料理は
個々でいただきます
○定食スタイル

HOSPITAL TOPICS

回復期リハ病棟では退院支援連携パス（医療者用）の運用を始めています！

80歳代女性 重度認知症 介護度5
大腿骨頸部骨折術後 ADL全介助（食事：ミキサー食）

主介護者の思い 両親とも在宅で看取りたい

ケア目標

夫と同じ食事形態のきざみ食摂取を獲得し、主介護者の負担を減らすための食事介助環境を整える

パスを用いた多職種の具体的ケア

NS：生活リズムを整える援助

KTバランスチャートによる食事評価

自助具による自力摂取の評価

PT：車椅子の選定・ポジショニング評価

日中の覚醒不良改善（離床・歩行）

OT：食事時の姿勢・環境・自力摂取評価

日中の覚醒不良改善（作業活動評価）

結果

退院支援パス（医療用）は、専門職間で互いの目標とアプローチを共有し、進捗を把握することができます。多職種連携の下アプローチすることで、覚醒状態は改善し、きざみ食自力摂取が可能となりました。主介護者への動画を用いた介護指導も行い、在宅生活へ円滑に導くことができ、看護師による退院後訪問では、ケアの継続が確認できました。



回復期リハビリテーション病棟退院支援パス 分類① 脳血管疾患 疾患名（			
全職種	成りゆき ☐ 施設 ☐ 老健 ☐ 特養 ☐ グループホーム ☐ その他	退院時目標ADL ☐ ADL	T字杖自立 屋外 見守り 調理一部実施 洗濯取り込
職種	項目	地域	入院当日（ / ）～3
達成目標アウトカム	看護師・リハビリ	※看護師とリハを中心に 多職種合同で記載を 進めてください	次の短期目標を 記載していきます
医療上の課題	医療	入院時CC及び1週間CCにて 情報整理してください！	□医療処置内容の確認 □頭部CT □ECG
	健康 知覚 管理	□健康・疾患についての認識 □内服薬の服薬状況 □症状の確認 □普段の食事量	□健康・疾患についての認識 □服薬内容の確認 （内服方法の確認） □水飲みテスト（必要時） トロミの有無 □食事形態・自助具の必要性の検討

外来・放射線科からのお知らせ

当院では、骨密度測定装置(GE社製)を導入しており、骨粗鬆症の予防、診断および治療に役立てて頂けます。微量のX線を用いて、簡易にベッド上で測定可能です。検査時間：5分～10分骨密度の測定をご希望の場合、当院放射線科までご連絡をお願い致します。

